

# 南信州広域連合第11回広域連合会議 結果報告

日時：令和4年2月18日(金) 14:30～15:15

場所：Web会議

## 【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕細川所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔下伊那郡町村会〕岡庭事務局長

〔南信州観光公社〕高橋社長・竹前部長

〔飯田広域消防〕有賀消防長・下平次長兼警防課長・松下総務課長

〔環境センター〕飯田事務長

〔事務局〕吉川事務局長・加藤事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長

野牧広域振興係長・伊藤庶務係長・松澤庶務係主事

## 1 開会…14:30

## 2 広域連合長あいさつ

新型コロナウイルス感染症対策のため、前回に引き続きWebでの会議となる。本日は会議終了後に伊那谷自治体会議も予定されているため、円滑な進行にご協力いただきたい。

前回の広域連合会議からの動きになるが、信州大学新学部の誘致について、1月23日付で信州大学新学部誘致推進協議会が設立された。また、2月14日の広域連合議会開会に先立ち、南信州広域連合議会から連合長宛てに、誘致活動をさらに盛上げていくための要望書を受領した。当地域の悲願でもあるため、官民一体となって盛上げていきたい。

## 3 協議・報告事項

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策について 【飯田保健福祉事務所長、事務局長】

\*南信州圏域の社会福祉施設における新型コロナ人材応援制度の充実について ～資料No.1～

社会福祉施設での新型コロナ蔓延に伴い、応援人材が不足し、最低限の施設維持が困難な状況が発生していることから、県制度の枠組みを活用し、南信州圏域内の人材応援制度の実効性を高めるため取り組むもの。具体的には、介護関係の分野については、県単補助事業を活用。関連施設等へ通知を发出し、南信州圏域内の登録施設の増加を図る。また、障がい関係の分野については、国庫事業を活用。南信州圏域の独自の制度として、事前エントリー登録制度を構築するとともに、関連施設等へ通知を发出していく。通知については、飯田保健福祉事務所長通知に加え、南信州広域連合長からの協力依頼通知を发出。

(主な意見等)

連合長：発動しないで済むことを願っているが、なにかあった際には、この制度を利用し法人等をサポートするということで体制を強化しているので、ご承知いただきたい。

### (2) 南信州観光公社の取組について 【南信州観光公社】 ～資料No.2～

\*資料に沿って令和3年度事業報告について説明実施

(主な意見等)

阿智村：観光庁補助や元気づくり支援金など様々な補助金制度を利用し、幅広い新しい分野を展開してくださっていることに感謝している。現在コロナ禍で観光業は非常に厳しい

状況下であり、コロナ明けの戦略が重要になってくるが、その一つとして修学旅行に目を向けて欲しい。過去に阿智村から修学旅行の関係等で長野県内や隣県にDMを発信したことがあるが、数多くの反響があった。南信州圏域は修学旅行に良い所だと長野県内でも言われている。是非、修学旅行を一つポイントにして欲しい。

また、病院関係の入院患者等が、病気が完治した後に旅行したいという気持ちが強いことから、そういったところにもきっかけとして営業をしていただくのも良いのかなと思う。参考にさせていただきたい。

南信州観光公社：私共も、隣県や県内の学校に対しアクションを起こしており、実際、昨年から今年にかけて、県内からも多くの学校が南信州地域を訪れている。今後も引き続き積極的な呼びかけをしていきたい。

(3) 稲葉クリーンセンターの運転状況について 【飯田環境センター事務長】 ～資料No. 3～

ア 運転状況について

- ・令和4年度1月までの委託収集ごみ搬入量は16,665.10t（前年比96.48t減）、直接ごみ搬入量は7,915.50t（前年比47.38t増）。
- ・市町村別ごみ搬入量は、飯田市が約73%を占めており、昨年とほぼ同じ割合。
- ・搬入台数は一日平均196.1台で、昨年よりも減少傾向。
- ・視察見学者数について、小学生の見学は32校1,326名（警戒レベルに応じ中止の期間あり）。
- ・ごみ減量キャンペーンの取組として、展開検査や搬入ごみチェックを実施し、分析結果を広報誌等で周知。また、事業所用ごみ分別ガイドブックによる事業所への啓発や構成市町村ごみ処理事務担当者との情報共有を図った。

イ 環境測定の結果について

- ・排ガス測定、焼却灰等ダイオキシン類測定、焼却灰等溶出試験、焼却灰放射能類測定、周辺環境測定において、全ての項目で協定値以下を確認。

ウ 設備点検整備状況について

- ・1、2号焼却炉定期修繕（前後期に分け2回）。
- ・タービン発電機、共通系点検実施。

→ 質疑等なし

(4) 信州大学新学部誘致について 【事務局長】 ～資料No. 4～

\*信州大学新学部誘致推進協議会設立総会について、新型コロナウイルス感染拡大に伴い書面での決議となった。会員（入会申込者）786人中、642人から書面表決書をご提出いただき、すべての議案について過半数の賛成をもって可決となった。設立日は令和4年1月23日。今後は更なる会員の拡大を図るとともに、関係機関に対する要望活動や郡市民等に対する啓発・広報活動、信州大学の新学部設置に対する支援活動等を行っていく予定である。

→ 質疑等なし。

(5) 飯田広域消防本部から 【消防次長兼警防課長】 ～資料No. 5～

- ・火災発生件数について（2月13日現在）  
→ 12件（前年同日比 +1件）
- ・令和3年消防統計の概要について  
火災 73件…出火件数は前年（75件）と比べ2件の減少  
救急 6,949件…出動件数は前年（6,615件）と比べ334件の増加  
救助 89件…出動件数は前年（87件）と比べ2件の増加
- ・令和4年「春の火災予防運動」の実施について  
期 間：令和4年3月1日（火）から3月7日（月）までの7日間。

目 的：火災が発生しやすい時季を迎えることから、火災予防思想の一層の普及を図ることにより火災の発生や火災による死傷者を減少させるとともに、財産の損失を低減することを目的とする。

重点目標：住宅防火対策の推進、林野火災予防対策の推進、放火火災防止対策の推進。

・令和4年「たき火火災ゼロ運動」の実施について

期 間：令和4年3月1日（火）から3月31日（木）までの1か月間。

目 的：たき火等屋外での火の取扱いに起因する火災が多く発生する時季を迎えるにあたり、「たき火火災ゼロ運動」を消防署、消防団及び市町村等と連携し実施することで、住民の防火意識の高揚を図り、たき火火災を抑制することを目的とする。

取組方針：たき火、ごみ焼、火入れ等からの出火防止及び屋外での火の取扱い時の習慣を推進。

→ 質疑等なし

(6) 後援依頼について 【事務局庶務係長】 ～資料No.6～

\*第36回飯田やまびこマーチ

期 日：令和4年4月23日（土）、24日（日）

主 催：飯田市・飯田市教育委員会

開催目的：ウォーキングの普及啓発、市民の健康増進、子どもたちの歩育推進

→ 異議なし。承認となる。

4 長野県から

特になし

5 当面の日程について

2月18日（金） 伊那谷自治体会議（Web会議）

2月28日（月） 広域連合議会第1回定例会閉会日（エス・バード）

3月16日（水） 広域連合会議（県合庁301）

6 その他

特になし

7 閉会…15:15